

ぐ)の根拠が完全に崩壊したにもかかわらず、「このまま採決にかけるのは国会の自殺行為だ」と強調しました。

要支援者への訪問・通所介護を保険給付から外して市町村の事業に移すのは「受給権のはぐ奪」であり、「サービスの質も量も低下する」と述べました。

要介護1～2の人を特別養護老人ホーム入所の対象外とすることに道理はない「介護難民化」を深刻にする」と指摘しました。強権的に病床を削減する仕組みの導入についても、「医療を受ける国民の権利が侵害される」と批判しました。

採決に先立つ質疑で小池氏は、経済財政諮問会議が法人税減税と同時に社会保障の自然増抑制も含めた「効率化」を打ち出したことにふれ、「社会保障のためといって消費税を増税したのに、法人税減税の財源を社会保障削減でまかなうなど」という身勝手は許されないと告発。安倍晋三首相が「法人税減税の財源として社会保障を削減する考えはない」と弁解したのに對し、小池氏は「国民からみればそうなっている。社会保障の大削減路線にかじを切る今回の法案は断じて認められない」と強調しました。

小池氏は、介護保険利用料引き上げ（1割から2割）

医療・介護総合法案が可決

小池議員[反対]「介護保険の歴史的大改悪」

6/18
香旗

自民・公明両党は17日の行い、賛成多数で可決しま

参院厚労委
・介護総合法案の採決を強
行し、賛成多数で可決しま
る中、日本共産党的小池晃
議員は反対討論に立ち、「介
護保険制度の根幹を搖
るが歴史的大改悪だ」と批
判しました。民主、維新、みんな、社民の各党も
反対しました。

質問する小池晃議員
17日、参院厚労委

参院厚生労働委員会で医療
・介護総合法案の採決を強
行し、賛成多数で可決しま
る中、日本共産党的小池晃
議員は反対討論に立ち、「介
護保険制度の根幹を搖
るが歴史的大改悪だ」と批
判しました。民主、維
新、みんな、社民の各党も
反対しました。

小池氏は、介護保険利用
料引き上げ（1割から2割）
認められない」と強調しま